

石原知事の記者会見・発言(3/16)に対する質問書

提出者:植田 芳子

今年3月16日の都知事・記者会見で 石原知事は「外環の2」問題について 次頁にあるような発言が有りました。時間の関係で ここでは 読み上げませんが 特に下線を引いた部分に眼を通してください。

発言内容を要約すると

- 「外環の地上部街路」もしくは「外環の2」と呼ぶのは止めて貰いたい。

これ「外環」でないのです。地上に2つもの「外環」を作るというイメージで無いので 呼び方そのものが間違っている！

- 「外環の2(2環)」という「外環」を2本作るみたいなイメージになりますが そんな馬鹿なことはしない訳ですから……。

と発言されているのです。そこで質問です。

質問1. これらの発言から 石原知事は 地上には「外環」と名付くものは 無いと信じていると思われれます。従って「外環の2」のことは承知している…という回答だったけれど おかしいではないですか？ 地上に残っているという意識は 全く無いではないですか？

石原さんは「地上に作ろうとしているのは 外環の2でなく 付随した道路」と言っているのです。結局、石原さんは 地上には「外環の2」は 存在していないと理解されています。小口課長の今までの説明と食い違っていませんか？

質問2. 上記の2番目の●の発言では「外環と名付くものを 2本作るイメージになるが そんな馬鹿なことはしない！」と言い切っているのです。

でも 東京都は そんな馬鹿なことを 今、やろうとしているのではないですか？

この発言で 石原さんは「地上に 外環の2 が残っているなんて 全く頭の中に無い」事が決定的になったのではないですか？

質問3. 石原知事は「外環の2」という呼び方、「外環の地上部街路」という呼び方は止めて欲しいと発言されています。これに対し、都市整備局での話し合いの結果は どうなったのでしょうか？

あるいは 石原さんの発言は無視してしまう積りですか？ 住民に対し その結果の報告をする義務が有りますね？ 是非、聞かせて下さい。

石原知事記者会見での質疑応答(3/16)……外環関係のみ抜粋

【記者】新年度本格着工する外環道の関係なのですが、練馬一世田谷間は2020年、オリンピック招致のタイミングで完成させるということなのですが、東名から先の羽田までの区間について、都の方は早期着工というのを求めていると思うのですが、知事ご自身のお考えとしてはいかがでしょうか。

【知事】ちよつともう一回。

【記者】東名から先の羽田空港までの区間、20キロぐらいあるということなのですけど。

【知事】これも相当高い優先順位で考えていかないといけないと思います。羽田が国際空港化し、あそこに、国交省と打ち合わせしましたけれども、吸引力のある、非常に大きいものは国際会議場をつくれますから。そうなればなるほど、羽田に結ぶ外環の高速道路のニーズというのは増してくると思うし、非常に高い優先順位で考えるべきだと私は思っています。それから、この間も質問に出ていたけど、第二外環(外環の地上部街路(外環ノ2))というのはやめてもらいたい。これ、外環じゃないんです。外環は地下につくるんだけども、それに付随した道路の整備というのは、都市工学をやったら、当然必要になってくるし、一部の人たちにご迷惑がかかるかもしれないけど、それはそれなりの代償で措置をしますけれど。地上に2つもの外環をつくるという、そういうイメージじゃないんで、これはちよつと、呼称そのものが間違っていると私は思います。

【記者】都の予算として、外環の関連街路事業として計上されていると思うのですけれど。

【知事】ぜひ必要ならつくらなくちゃいけませんよ。ただ、呼称を二環とか、そういう言われ方をすると、外環2本つくるみたいなイメージになります。そんなばかなことはしないわけですから。

【記者】東名から羽田の区間なのですが、田園調布とか二子玉川とか、練馬から世田谷までの区間と同様に、かなり良好な住宅地を通る形になると思うのですが、あの区間も大深度でやるべきだというふうにお考えでしょうか。

【知事】今言った外環が羽田に結ばれたら、今言われたみたいな道を新規につくる必要がそんなにあるのかなと思いますけど。かなり便利になりますから、アクセスは。そういう住宅地を抜けたら、地下という形にしかならざるを得ないでしょう。行うとしての話ですけれど。はい、それじゃ。